

2023年10月11日
記者発表資料
生涯学習部図書館町田市民文学館
館長 野澤
電話 042-739-3420

「生誕100年 遠藤周作展 一ミライを灯すことば」を開催します

町田ゆかりの作家・遠藤周作（1923-1996）は、2023年に生誕100年を迎えました。町田市民文学館の開館のきっかけとなった作家であり、当館では開館以来、展覧会や講演会等を通じて顕彰を行っており、今回は3回目の展覧会となります。

遠藤周作は、「日本人にとってのキリスト教」を文学テーマの基底に据え、差別や罪の意識、個と権力、人間の弱さなどの心の暗部を描き出し、本当の自分とは何か、悪に救いはあるのか、人生とは、神、信仰とは何かを問い続けました。共に悩み苦しむ、弱者に寄り添う姿勢が多く、読者の共感をよび、今なお人々を慰め、勇気づけています。

町田在住期（1964～1986）は、『沈黙』『侍』などの代表作を発表するとともに、狐狸庵先生として幅広い年代から親しまれた時期にあたります。

本展では、いま読むべき文学、次世代に語り継ぐ文学として遠藤の作品の数々をご紹介します。

- 会 期：2023年10月21日（土）～12月24日（日）10時から17時
※毎週月曜日、11月9日（木）、12月14日（木）は休館
- 会 場：町田市民文学館ことばらんど（原町田4-16-17）
- 展示内容：1 小説家・遠藤周作について（出品資料：直筆原稿、著書など）
2 現代作家4人による作品解説
（出品資料：直筆原稿、構想ノート、日記など）
「白い人」（解説：山崎ナオコーラ）
「海と毒薬」（解説：夏川草介）
「沈黙」（解説：山崎ナオコーラ）
「侍」（解説：朝井まかて）
「スキャンダル」（解説：阿部暁子）
「深い河」（解説：山崎ナオコーラ）
3 当館所蔵資料コーナー
（出品資料：ルオーやルノアールの絵画などの愛用の品々など）
※出品資料：1～3合わせて計約150点
- 観 覧 料：一般600円、大学・高校生300円、中学生以下無料
※ただし、10月22日（日）、11月3日（金・祝）は無料
※町田市立国際版画美術館との相互割引を実施（10月21日～12月10日）
- 協 力：長崎市 遠藤周作文学館
- 監 修：加藤宗哉（作家）、今井真理（文芸評論家）

■ 関連イベント：

- ・10月28日 夏川草介 講演会「作家が語る遠藤文学 ～「海と毒薬」をめぐって」
- ・11月3日 山崎ナオコーラ×今井真理
対談「作家が語る遠藤文学 ～「白い人」をめぐって」
- ・12月9日 加藤宗哉 講演会「遠藤文学が時代を超えるわけ」
- ・12月2日 映画「深い河」上映会
- ・11月4日、29日、12月24日
担当学芸員による展示解説
- ・10月28日、29日
桜美林大学×町田市民文学館共催企画 舞台「合唱物語 沈黙の声」